

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 9 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	・定期的にモニタリング、再アセスメントを行い、施設介護計画書の見直しを行っているが、利用者様の身体状況等に変化が見られていないと、次に掲げる課題や可能性に限りを感じてしまい、本人様主体で物事を考えるが、現状の生活の継続に留まってしまう計画になってしまう事がある。	・日々の関わり支援の中から、些細な事でも変化を見つけ出し(利用者様から発せられる言葉や行動など)常に可能性を導き出していけるような考え方を全職員が持つよう意識を高める。また情報共有も密に行い、支援にも繋げられるよう努める。	①日々の介護記録、申し送りなどを利用して、細かな支援状況、変化などを見つけ出しながら職員間で共有、意見交換を行う。 ②計画作成担当者を中心にサービス担当者会議での積極的な意見交換、日々の支援の振り返りから見えてくる可能性を見つけ出していく。 ③医療面に関しても重点を置き、サービス担当者会議に主治医(施設主治医)にも参加を促していき、助言を頂く。	12ヶ月
2	33	・看取りに関して、主治医との連携は図れているが、現状、施設での看取り件数も少ない状況であり、職員の精神面の負担も考慮して施設転居、入院加療などに繋がってしまうケースが多くある。(ご家族様の意向を確認し、相談の上、行っている。)	・ご家族様の意向を踏まえながら安心出来る施設での看取り対応を目指していく。また職員の研修(看取り介護)も看護師を交えて、定期的開催し、メンタル面でのフォローも行えるような体制を設ける。(現状、ご家族様からの看取り希望は増えている状況ではある。)	①身体状況に応じて、ご家族様への細かな報告、主治医との連携を今以上に密に行い、話し合いの場を状況に応じて、その都度開催をしていくようにし、納得出来る看取り介護が実施できるよう体制を整えていく。 ②施設内の勉強会にて看取り介護に関するテーマを設け、職員教育に繋げていく。また法人内、外部研修にも積極的に参加し、経験を踏まえた情報交換の場として活用していく。	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。